

おしゃべりサロン「相互塾」(第79回) <入場無料>

共催：調布市

～ 平和の礎展 2006 関連事業 ～



『市民が語る私の戦争体験』

老いも若きも大歓迎。Face to Face を大切に！

「辛酸をなめた旧満州からの引き揚げ」

日 時：平成18年8月5日(土) 午後2時～4時

場 所：文化会館 たづくり 12階 大会議場

「戦後60年 満州の悲劇と平和について考える」

語り手：池田 精孝さん : 池田内科医院(調布ヶ丘) 院長
(旧満州を調査記録する会代表)

- ・旧満州(現中国東北部)に入植した満蒙開拓団、ソ連の参戦で関東軍にも見捨てられた
- ・飢え、寒さ、略奪、伝染病、集団自決、想像もつかない苦勞の中で何千キロも徒歩で逃避行 ・半数近くの人が祖国の土を踏めなかった ・そして慰霊の旅

「幼子を背負って生きた心地がしなかった」

語り手：河村 利子さん : 深大寺東町在住

- ・敗戦で大混乱の長春、いつ帰れるか不安と恐怖の長い冬 ・4才と2才の子どもを連れて苦行の引き揚げ ・手作りの特大リュックにあらゆる荷物を詰め込んで“乞食の宿替え” ・無蓋列車、野宿、栄養失調、医者なく薬なく命を落とす幼い命……

【お話しいただく内容については、その概要が裏のページにあります。ご覧下さい】

【 定員：当日先着 150人 】



主 催：特定非営利活動法人 調布まちづくりの会

共 催：調布市

問合せ先：森下 政信 (TEL & FAX 483-9993)

調布市生活文化部市民参加推進室文化振興係

(TEL 481-7139)

(ウラへ続く)

お話いただく方々のお話の概要

池田 精孝さん：「戦後60年 満州の悲劇と平和について考える」

昭和17年、一家は長野県下伊那から満蒙開拓団として旧満州奥地の大古洞村に入植した。自分は軍医になるべく佳木斯（ジャムス）医科大学に入学、繰り上げ卒業の翌日（昭和20年8月9日）ソ連参戦で召集され牡丹江陸軍病院に赴き、家族とは合流することなく、ソ連軍や匪賊の襲撃から逃避する現地日本人の医療活動に従事する。満蒙開拓団にとって頼りとする関東軍は開拓団を早々に見捨てて撤退し、17才以上の男子が根こそぎ動員された後、残された女性・子ども・老人が、見ず知らずの土地で、飢え・寒さ・伝染病・略奪・集団自決……想像を絶する苦勞の中、徒歩で何千キロもの逃避行を余儀なくされた。足手まといとなる病人・老人・子どもなどが、やむを得ず置き去りとなったり、開拓団の半数近くが祖国の土を踏むことなく死んでいった。池田家の家族も両親・妹が祖国を目の前にして亡くなった。ここ十数年、中国東北部の日本人の開拓村があった場所を訪ね歩きながら「慰霊」の旅を続けている。中国の人々の感情を考え、現地の人たちとの関係を作りながら、かつての日本人開拓村を探し、訪ね、戦争に翻弄された人々の魂を慰めることを80才を超えた今も淡々と続けている。“来年は土曜か日曜に来てゆっくり遊んでください”と言ってくれた佳木斯市児童福利院（孤児院）の子ども達の声が忘れられない。

河村 利子さん：「幼子を背負って生きた心地がしなかった」

昭和16年遼瀋、敗戦とともに中国国民党軍・共産党八路軍・ソ連軍が入り乱れて極度の治安悪化で外出もままならず、家の中でも流れ弾の恐怖に怯える。主人の会社もなくなり無収入のなか“売り食い”生活も底をつく。いつ帰国できるのか分からない不安な長い冬。昭和21年6月やっと新京駅から無蓋列車で、親子4人（主人と4才と2才の子ども）で長春～錦州～大連を経て引き揚げの苦行が始まる。錦州で一ヶ月の足止め、工場跡で野宿、コーヤン飯で下痢をして衰弱する子どもに薬もなく、死ぬかと思った。錦州からは貨物列車に乗せられ、駅に止まるたびにお鍋でオシメを洗う。栄養失調で亡くなった赤ん坊を貨物列車の窓から捨てさせられる若い母親に、心がえぐられる。やっと大連に着いて貨物船の船底に詰め込まれて少し緊張が解れるも、空腹とシラミに悩まされた上、赤痢患者発生で1ヶ月停船、やっと8月末に門司港に上陸、無事祖国の土を踏むことができた。

☆「相互塾」これからの予定

	月日	曜日	テーマ（仮題）	語り手（敬称略）
第80回	9月25日	月	人生は出会いのドラマである	中島 力(元テレビ朝日制作局長、作家)
第81回	10月30日	〃	子どものかかえる問題	村上剛明(調布市教育相談所主幹)
第82回	11月27日	〃	緑の循環から始まる生活環境	内山信一(遠州屋材木店社長)
第83回	12月18日	〃	日本映画学校の現状	千葉茂樹(日本映画学校教育局長)
第84回	1月30日	〃	防災とまちづくり	伊藤晴夫(調布防災ボランティアコーディネーターの会代表)

◇ NPO法人 調布まちづくりの会 (新入会歓迎)



〒182-0023 調布市染地3-1-19 ハ-3-510 TEL&FAX:0424-88-4022

ホームページ：<http://www.annie.ne.jp/~machikai/>

調布まちづくりの会 は「市民の手でまちづくりを」という思いから、その前身は1998年に発足しました。2000年4月には特定非営利活動法人として、新たにスタート。「住み続けたい緑につつまれるまち調布」実現のため、調査研究、提言、情報提供などを行う、誰でもが参加できる開かれた自主活動グループです。市民とのシンポジウムやまち歩きなども行っています。